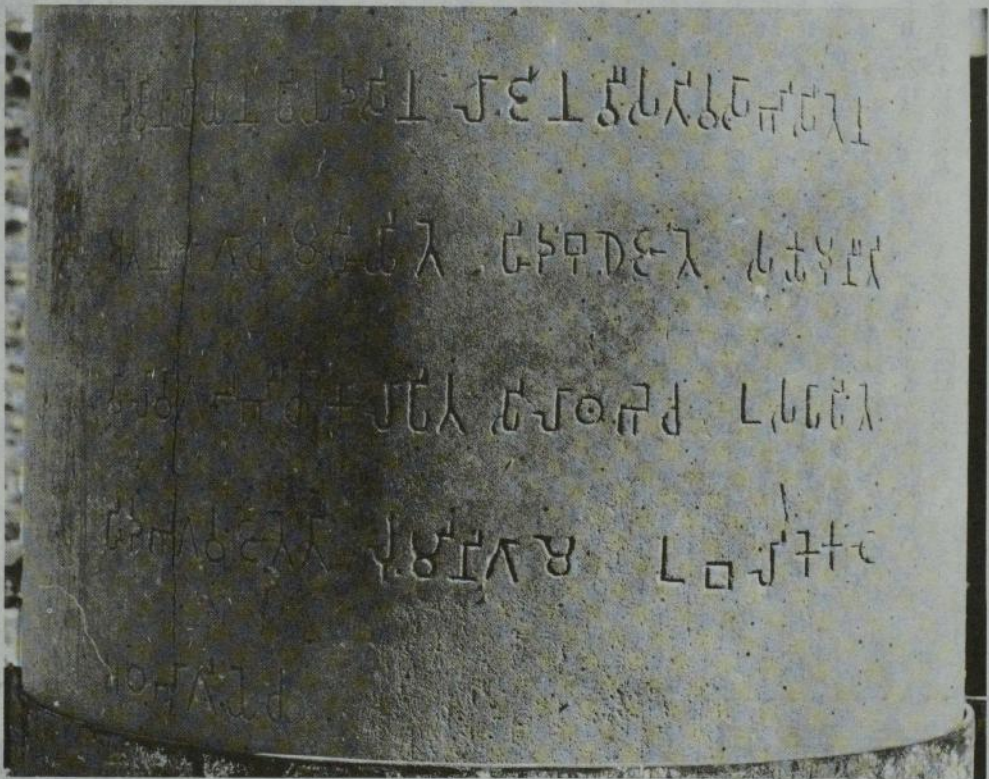


No. 291

全 仏

9/58

ルンビニー—復興を支援しよう



釈尊生誕地ルンビニーのアショカ王柱に刻まれた碑文

「デヴァナンプルヤ・プリヤタルシン王は、即位第20年のとき、自らこの地を詣で、礼拝した。それは、釈迦牟尼世尊が、この地で誕生されたからである」と記されている。

全仏常務理事会

二つの議案など承認



開会の挨拶をする本多理事長

全仏の常務理事会は、去る八月五日午後一時から、京都ホテルを会場に開催された。

本多理事長三掃依文唱和、挨拶、豊田総務局長開会の辞に引きつづいて、豊田局長から、六月二十四日付けで新しく就任した、龍山哲成事務次長（本願寺派）ならびに川井匡俊国際文化局長（浄土宗）の紹介が行われ、両氏が就任の挨拶を行った。その後、議長に本多理事長、議事録著

名委員に鱈淵正浩、岩上覚二の両師を選んで、議事に入った。

議案第一号「昭和五十九年度予算案編成の基本方針について承認を求める件」

担当局長、部長から説明。来年度は、同和推進費や事務総局機構検討委員会新設に伴う費用など、増額が予定されるが、総枠で四パーセント台に近い上昇に止めると、という事務局案が承認された。

議案第二号「同和委員会より提出された要望書につき事務総局案の検討の件」担当局長、部長から説明。同和問題特別理事会を開催することなどを骨子とする、事務局案を承認。

休憩の後、豊田総務局長から、五月二十六日事務総長に就任した藤原知徳師（曹洞宗）が、諸般の事情で七月二十九日辞表を提出し、曹洞宗では後任の推薦を準備している、後任が決まるまで、龍山哲成事務次長が、次長のまま事務総局の代表者となる、等の報告が行われた。

報告事項

- ①「第十四回WFB大会について」
- ②「第三十回記念全日本仏教徒会議について」
- ③「第三回同和研修会について」
- ④「第十六回日本仏教文化会議について」

各担当局長から報告。

全仏副会長に林師

去る六月二十四日付けで、全仏の新しい副会長に林亮海師が就任した。これは東京都仏教連合会の会長に、小峰順誓師に代わって林師が就任したのに伴う人事。林師は東京練馬区・真言宗豊山派長命寺住職で、元豊山派宗務総長。八十歳。なお、小峰前副会長は、真言宗智山派の管長に就任された。

ルンビニー総務部会

副部会長に藤岡師

第六回ルンビニー総務部会は、去る七月二十五日午前十一時から、明照会館会議室で開催された。

最初に、ルンビニー復興日本仏教徒委員会総務局長を務める龍山哲成事務次長が、就任の挨拶ならびに開会の挨拶を行った。つづいて貝山宣泰副部会長を座長に協議を開始した。

①副部会長人事について

今年六月十六日付けで、本願寺派から実行委員となった藤岡義昭師が副部会長に就任することを決定。

②交換文書の調印について

交換文書調印にかかわる問題点に関し、様々な意見が提起されたが、この日は出席委員が少なかつたため、意見交換にとどめることになった。

さらに、総務部会のもち方に関して協議がなされ、事務局で十分出席を確保するよう努力することになった。

昭和59年版

全仏手帳

申込み受付中

全仏総務局では、左記要領にて「全仏手帳」を発行します。部数に限りがございますので、御注文は早めに。

内容 三掃依文、四弘誓願、宗門聖日、加盟団体役員住所録、忌日早見表、その他

サイズ 9×14cm

定価 五五〇円（送料実費）

申込先 東京都港区芝公園四十七

四 全仏総務局

「全仏手帳係」宛

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 浜田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965

地震義援金を被災地へ送る

山陰豪雨救援もどうぞよろしく

去る五月二十六日の日本海中部地震に
対し、救援物資の募集をしましたところ、
別表の通り多額の義援金をお送りいた
だき、ありがとうございます。時局対策
部ではさっそく、青森県仏教会及び、秋
田市仏教会を通して被災地の方々へお送
りいたしました。

また、その後おこりました、山陰地方
の豪雨に対しても、義援金を募集してい
ますので、どうぞよろしく願います。

「財務手引書」第三巻

編集に小委員会設く

税務委員会では、「財務手引書」①②が
完成したのに引き続き、第三巻を編集す
るため小委員会を設置することになった。

第一回税務小委員会は六月二十日、第

二回は、八月一日にそれぞれ開催され、
「財務手引書」③は、仮称を「寺院の収
益事業と納税事務」とし、寺院の収益事
業を内容とする。専門家からアドバイス
を得る必要から、公認会計士を委員会の
メンバーに加える等をきめ、さらに会議
を重ねていくことになった。

アンケートのお願い

税務委員会が編集した「財務手引書」

義援金一覧 (到着順)

団体名	金額(円)
真理舎	10,000
真言宗山階派	20,000
浄土宗西山深草派	10,000
念法真教	100,000
岡山県仏教会	30,000
全日本仏教会	10,000
全日本仏教会職員一同	20,000
真言宗須磨寺派	20,000
総本山仁和寺	10,000
京都府仏教会	10,000
仏教振興財団	30,000
黄檗宗大本山萬福寺	30,000
和歌山県仏教会	50,000
東京アディストクラブ	20,000
沖縄県仏教会	50,000

①②は、六月末から各加盟団体へ配布が
始まり、大きな反響をよんでいます。各
県単位の仏教会が組織されていない地域
については、全仏加盟宗派のご協力をい
ただきたいと、時局対策部ではアンケ
ートを送付しています。各宗派におかれ
ましては、すみやかにご返答いただきま
すよう、よろしく願います。

また、時局対策部では、この「財務手
引書」①②の内容に関して、ご感想、ご
意見をお待ちしています。

訂正 本誌七月号四頁「同和現地研
修ひらく」の記事中、「本願寺派同朋連
動本部が製作」を「読売テレビが製作」
へ訂正します。

第14回 WFB

昭和58年12月3日(土)～12月9日(金)

世界仏教徒会議インドネシア大会と バリ島・ボロブドール仏跡巡拝の旅

ごあいさつ

平素は全日本仏教会のため何かと多大の御支援、御協力
を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて第14回世界仏教徒会議インドネシア大会は本年12月4
日より5日間首都ジャカルタにて開催されることになりました。また
WFB(世界仏教徒連盟)本部、及びインドネシア仏教会の御
好意により、私は当大会の来賓として参加することとなりました。

そこで、本会ではこの大会を記念して大会開会式参加後、
世界的なボロブドール仏教遺跡を巡拝し、南海の楽園といわ
れるバリ島をめぐるツアーを計画致しました。

つきましてはこの絶好の機会に皆様多数お誘い合わせ、ご
参加下さるようお願い申し上げます。

合掌

財団法人 全日本仏教会々長

金子 日威

条件	参加人員	参加費用
全行程食事付	50名	268,000円
ベテラン添乗 員が同行いた します。	(満員になり 次第締切りま す。)	

企画 (財)全日本仏教会

旅行主催  日本旅行

赤坂海外旅行・団体旅行センター

☎(03)586-4631(代) 仏教デスク 柳沢、小野鴨まで

昭和58年9月1日

WF B大会について話し合い

国際専門委員会

第三回国際専門委員会は、七月二十九日午前十時から明照会館会議室で開催された。

開会に先だち、新任の川井匡俊国際文化局長の挨拶が行われ、近藤隆敬委員長を議長に議事を開始した。

この日は主に、第十四回WF B大会について話し合わせ、まず田代国際部長から、七月七、八の両日バンコクで開催されたWF B執行委員会の報告が行われた。それによると、開催地についてはインドネシア国内のどこになるか結論が出ていない。WF B執行委としては、ジャカルタで開催されるよう、役員をインドネシアへ派遣する。期日は今年の九日から十六日までと変更する。全仏で募集しているインドネシアツアーは実施する、等々であった。

専門委員の間から、種々の意見が出されたが、WF B本部の決定に従うという結論になった。また、大会に派遣する代表団は、①来賓—全仏会長、副会長の中から一名、②代表—理事会の中から一名（首席代表）、事務総局から一名、③オプザバー—国際専門委から一名、事務総局から二名、という事務局案が承認された。

その他、来日を希望する外国人僧侶・留学生については、受け入れ内規を検討する、等が話し合われた。

文化専門委の初会合

囲碁大会など承認

第一回文化専門委員会は、去る八月三日午後二時から、明照会館会議室で開催された。

開会に先だち、川井匡俊国際文化局長並びに、川島宏之文化部長が新任の挨拶を行い、若林隆光委員長を議長に、議事を開始した。

①仏教文化財の保護について

全仏では、毎年、文化財保護を推進するため、自民党の文教部会・文教制度調査会へ、「国宝・重要文化財の修理・管理・防災事業の充実についての要望書」を提出しているが、本年度もこれまでの「要望書」の内容を一部修整して、提出することが了承された。

②第十六回日本仏教文化会議について

十月二十一日、日本学士会館で開催される予定の文化会議について、各委員から意見が寄せられ、事務局でその趣旨を文化会議運営委員会へお伝えすることになった。

この他、京都産業大からのアンケート問題等について話し合わせ、最後に、僧職者による全国囲碁大会を開催するという提案が承認され、終了した。

点火が簡単、半永久的に使用できる

御燈明用マッチ「火宝」

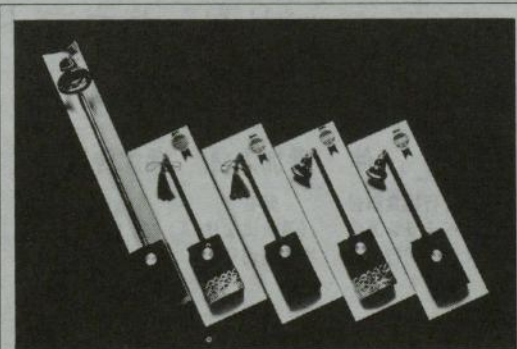


「火宝」は、ご仏壇・お墓参りの御燈明用マッチとしてふさわしい優れた特徴をもつ、安全で便利なマッチです。落ちついたデザインで色も黒の他6色、お名前・ご紋を入れる事も可能です。ご落慶・祭事・行事の記念品にもご利用下さい。

◎特長

1. 軸の燃えかすがでないので、ご仏壇のまわりを汚しません。
2. 軸が長いので、ゆとりをもってご灯火できます。
3. わずかなオイルの補給で、半永久的に使えます。
4. 水に濡れても、長期間保存しても大丈夫です。

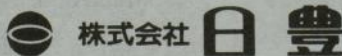
使い方



寺院用（軸が1m迄伸長、ローソク火消し付）
定価 2,800円

一般家庭用
定価 1,500円 1,800円 2,300円 各種
送料 350円

お問合せ
お申込先



株式会社 日豊

東京都中央区日本橋浜町2-11-2 日本橋中央ビル 〒103 ☎03(668)7811(大代)

法律相談室

回答 全仏顧問弁護士 長谷川正浩

【質問】

昨今税務署の調査・指導がきびしいのですが、小生は經理の方面にうとく、困っています。ことに会計帳簿をつけるという事は、意識しないでも、体が

拒否しているのではと思うほど苦手です。そこで税理士さんに依頼したいと思いますが、どういう点に注意すればよいでしょうか。その際、税理士さんは具体的にどのようなことをやってくれるのですか（兵庫県N寺住職）。

【回答】 税理士の業務は、大きく分けてつぎの三つに分れます。一つは、税務代理で、租税の申告・申請・不服申立て、過誤納税金の還付の請求その他について代理することです。そして、右について相談をうける税務相談が二つめ、三つには、申告書、申請書、請求書その他税務官公署に提出する書類を作成することです。

取得した者でなければ、行うことができませんが、弁護士と公認会計士は当然この資格を有しています。ところで、税理士と顧問契約を結びますと、一ヶ月に一回程度、帳簿をチェックしてくれます。もともと、帳簿のつけ方がわからない人については、基本的な指導をしてくれることはもちろんです。お寺の会計帳簿は、収益事業をしていない限り、費用と収益を対応させたり、減価償却をおこなったりするような複雑なことは不要ですから、簡単に覚えられると思います。また、お寺でおこなう収益事業も、お花やお線香を売ったり、貸地や貸家、貸席程

税理士の依頼について

談にあずかる場合が多いのですが、これは本来の税理士業務とは別個のものです。お寺の場合、その経営方針や、専門経営からくる諸問題の相談にのってもらおうとしても、普通の税理士では無理だと思います。ただ財産管理については相談のつてもらえるでしょうから、これらのことは顧問契約を結ぶときによく話し合っておく必要があります。

税理士の顧問料ですが、一ヶ月に半日程度帳簿のチェックをし、帳簿を整理して、日頃の税務相談にのってもらって、月額三万円から五万円位でしょう。そして、記帳の代行を依頼するとその倍額はかかると思います。もつとも、これらは、地方によっても、また税理士によってもちがいますから、右を一応の目安にして、よく相談されるとうよいでしょう。

いよいよ税理士を頼むとなると、さういふ人がよいのでしょうか。どんなことを頼む場合も同じですが、まず、誠実な人を選ぶことです。そして税理士としての誠実さとは、納税者の信頼にこたえる姿勢をくずさないこととでしょう。法律の解釈が、納税者に有利にならないかを常に研究し、自己の見解をもって、税務職員と交渉する

姿勢が大切だと思います。わからないことが出てきた場合、税務署に相談し、税務署の見解をおおむねえしのように依頼者に答える人は、納税義務の適正な実現やその道義の高揚に努力しているとは到底いえません。お寺については、詳しい税理士はまだ極めて少ないですから、お寺に詳しい税理士が身近にいなければ、常に勉強を怠らない人をさがし出すことが肝要だと思います。税務職員もお寺に関してはまだまだ詳しくありませんから、税理士が勉強を怠らなければ、税務職員をリードすることも難しくはありません。

また税務調査があつた場合、嫌がらないで調査に立合ってくれる税理士をみつけることも重要です。そして、調査にあつては、過去帳や個人的な預金通帳の呈示を正当に拒むことが納税者の利益につながると判断したときは、毅然としてこれを実行することができるといふか、この点については、税理士は、国税庁長官に懲戒権を握られているせいか、はたまた、今後の税務署との関係がますますなることを恐れるせいか、納税者からみて隔靴搔痒の感を抱くことが少なくありません。税務調査の立ち合い等は、いざさか我田引水ですが弁護士にお頼みになった方が良いかも知れません。

以上を参考に良い税理士に邂逅されることを祈っております。

住職メモ帳

△チベット仏教の現況如何？

○去る六月末から七月始にかけてチベットに旅行し、ラサ・ギャンツェ・シガツェ等各地の寺院に参詣見学することが出来たので、もとより不十分な警見に過ぎないがご参考までに報告する。

チベットの仏教が解放初期において事実上抑圧を受けたことは周知のことであり、文革時代には多くの寺院が破壊され、現在もその大部分は廃寺となつている。僧侶数は極度に減少させられ、布教権を奪われた老僧だけが存続を認められて、細々と儀式を続けることが出来、壮年以下の僧侶は還俗するか、寺外に労働に出るかして露命をつなぐかの状況に追いこまれて、抵抗するものは別種の断崖を受けたといわれている。従つて若年の難僧の出家は全く認められなかつたのである。

今回の見学によつても僧侶数の復旧は殆んど認められなかつたといつてよい。千・万の単位で数えられたといわれる各寺院の僧侶数は百を単位で数えられ、それも五百を超えるものは殆んどなく、老残の僧数十名といった感じが強かつた。そして誇り高さ威厳といった相好は殆んど認められず、観光用といったムードさえ感じられる処もあり、インド領ラダック地方の寺院住職(例えばスピトク寺)とは隔たりを感じる。

じさせられ、グライラマ復帰への願望の強さの裏付けとも思われた。

ただシガツェのタシルンボ寺では壮年僧による經典の印刷(マニ車用)などがいきいきと行われ、又昨年出家したという数人の難僧の初級試験が集会場で行われ、終了後師僧の祝福のカタを受けた小僧たちがお礼のカタを師僧に捧げて喜びあう様を見できたのは喜びを以て報告すべき出来事と思われる。

ラサの大昭寺や周辺の八角街とよばれる経行路には巡礼があふれ、五体投地の法悦の境に浸り、寺内にも参詣の人々があふれていたが、チベットの人口の十分の一の漢民族によつて政治、軍事、産業、交通等の全てを掌握され、チベット人自身は例外の名目的幹部以外は全て被使用者側という現況では無知の法悦の感が深かつた。

観光、従つて寺院への案内も漢民族の人々によつて行われ、チベット人のガイドはタクシー運転手兼用の一回だけであつた。中国風の建築で有名なシガツェ郊外のシャル寺は荒廃が進み、観光コースからはずれた寺の運命を思わせた。

チベットへの日本人観光客はむしろ減少しつつあり、アメリカ人を中心とする西欧人の増加は、若年出家者の認許を口先でよろこぶだけでなく、チベット仏教会に対する日本仏教会の援助について物思わせることが多かつた。

(文化専門委員 若林隆光)

墓地の草取りはおまかせください

安全で強力な3タイプの除草剤が揃いました。

根までも枯らす強力除草剤

ネコソギ 粒剤

〈特長〉●安全●水なし●長く効く
■水なしで使え、根までも枯らし、6ヵ月間雑草の発生をおさえる強力タイプ。



1袋	3kg入
100坪用	

効きめが早い強力除草剤

ソクガレ 水和剤

〈特長〉●安全●速効●普通物
■3日後に枯らす超速効タイプ。

新発売		
1袋	750g入	50坪用

芝生用除草剤

コクリストール水和剤

■芝生に雑草をはやさなくする芝生用タイプ。

新発売		
1袋	500g入	200坪用

お墓参りに霊水香



霊水香

〔新発売〕ご先祖の喜ぶかおり

「霊水香」は、ご先祖を偲び、ご先祖への感謝をあらわし、ご先祖を供養する「水」と「かおり」です。本品を手桶の中の水に入れ、墓石におかけしますと、荘厳なかおりが広がります。ぜひ墓参りの方々に「献香」・「献花」と同様に「霊水香」のご使用をおすすめください。

Ⓐ 一休堂謹製

販売元



祖先を偲び今日に感謝 東京都千代田区神田美倉町2大恵ビル

株式会社 一休堂 〒101 電話 03(256)1930(代表)

日本画の絹の危機

去る六月八日の読売新聞の夕刊に、「消滅寸前 日本画の絹」という記事が掲載された。全日本仏教会では、文化財保護に関心を抱き、毎年、自民党の文教部会並文教制度調査会に「国宝重要文化財の修理・管理・防災事業の充実についての要望書」を提出して、文化財所有者の立場から、財政措置を十分に講ぜられるよう申し入れを行ってきた。

ところで、この記事は、それ自体、なかなか興味深い記事であるのみならず、文化財保護の法律にも明記されながら、従来の要望書の中で意識されなかった点に触れているので、概要に多少の潤色を加えて紹介してこの問題に、光をあてておきたいと思う。

日本で絵絹が中国からの輸入に頼らず独自で織られるようになったのは、狩野探幽(十七世紀)の時代であった。その後、連綿としてこの伝統は受け継がれたが、近代におけるピークは大正

絵絹のはなし

末から昭和のはじめであった。大観や清方をはじめ文展、院展に出品され、日本近代美術を飾った傑作のために、三尺幅はおろか六尺幅の大きな絵絹が織られたほどで、「絹に描かなければ、画家に非ず」の勢いであった。

その絵絹生産が次第に衰退してしまつて戦後、京都西陣をはじめ七社、二百五十台あった織機が本年六月現在、僅かに岐阜県各務原市に一社七台を残す迄になってしまったのである。

その原因としては二つの理由が、第一には、絵絹自体の変化が、第二には

文化財保護の知られざる一面

近代日本画技法の変化が考えられる。

日本画手法の変化

墨の線と濃淡の効果を発揮させるための絵絹の改良は、織機の近代化による量産と相いまって従来の手織りによる絵絹とは異なる新しい特徴を呈するようになった。それは縦糸に張力がかかる絵絹の登場であった。この絵絹は、画家にとって大層魅力的であったが、大きな欠点も併せもっていた。縦糸に張力をかけるため、絵絹を引っ張って

いない自由な状態におくと、引っ張つた分だけ縮んでしまうのであった。五尺五、六寸の屏風で一寸も縮んでしまつたので、丸い太陽が楕円になってしまつたり、表面の絵具が剥落し易くなつてしまつた。更には、戦後の日本画は、洋画に対抗するため厚塗り技法が主流となった。これらが生活の洋式への移行、即ち掛け軸から額装への移行の時代を背景として画家から絵絹を遠ざけさせ、紙全盛の時代を招来したのであった。

このままでは絵絹は減びてしまう。

この傾向に一石を投じたのが、「頼朝像」の模写であった。この国宝を模写するにあたり初めて古絹の復元が、糸の太さや織り方を工夫して平織り機で試みられた。張力をかけていないので縮みは少かった。こうして復元された絵絹は高山辰雄、稗田一穂といった大家を刺激し、若い画家たちの間で評判となった。紙への技法が出尽したわけではないが、戦後の主流となった厚塗り手法が剥落への心配とともに反省を迫られている今日、手織による古絹の復元は、新しい日本画の時代を作るのかど

国家の保護育成を

うか、甚だ興味深い……。

国宝や重要文化財また未指定ではあつても貴重な文化財の修理・保存、更にはそれらの復元・模写・模造を考える時、忘れてはならないことは、そのための材料の生産、用具の製造、それに技能者の確保にあることは言うまでもないことであろう。ある仏さまを修理しようとするれば、そのための材料が用意され、優れた技能者が丹誠を凝らすということにならないことには叶わぬ夢でしかない。

けれども近代化が進めば進むほど、伝統的な手仕事の世界には衰亡の影が射す。多くの子供たちは、労多くして報いられること少き親の跡を継ぎたがもやがて疲勞して離れてゆく人も多いだろう。

結局のところ、この問題は伝統文化の保存の問題に帰着する。その意味で絵絹の運命は、示唆する処大きいと思う。絵絹の周辺には、表具、木工、絵具、紙、漆、染織、金工……等々が同じ運命を背負っているのである。国家の手厚い保護・育成を願ってやまない次第である。

(文化部長 川島宏之)

「宗教法人の事務」

便利な手引き書

宗教法人法は制定後、すでに三十年を経過しており、社会状況の変化に伴って、一部ではその見直しの意見も出されている。

そうした現状をふまえて、このたび文化庁宗務課から、「宗教法人の事務」が刊行された。

これは「宗教法人の管理運営の手引・第二集」として、昨年刊行された『宗教法人の規則』に引き続いて出されたもので、宗教法人の事務を適正・円滑に進めるため、管理運営の視点から詳細に解説している。

目次は、①宗教法人の事務運営、②管理、③公示、④登記、⑤規則の変更、⑥合併、⑦解散、とつづき、付録として、「宗教法人法」ものっている。

内容をみていくと、まず日常の事務運営上生ずる問題について、どのように対処すべきかを具体的な事例を掲げて説明し、次に、宗教法人法が定める各機関、制度の仕組み、ねらい等について解説を行い、手続、様式、報告義務等は記載例を掲げて詳述している。さらに、登記、規則変更、合併、解散などについても、行政実例、判例などを交えて、具体的に解説している。

財務を除く宗教法人の事務全般が、わかりやすく述べられた本書は、各寺院に必携の書ともいえそうだ。

プリンクリー先生を 偲ぶ会

九月十日に

仏教英語研究会（花山勝友会長）では、発足以来百回目の定例研究会を迎えるに当たり、旧仏英研の生みの親である、故ジャック・プリンクリー先生を偲び、左記の通り追憶・感謝の集いを開催する。

日時 九月十日 午後四時
会場 新宿サンエービル

問い合わせは、新宿区西新宿三十一番三〇二、仏教英語研究会（〇三三四二一六六〇五）まで。

『事務局録事』

◆七月◆

五日 WCRP常任委員会出席
五日 WFB執行委員会出席
二十日 文化庁宗務課と懇談会
局内会議

◆八月◆

二十一日 野村宗春師本葬参列
二十五日 ルンビニー総務部会
全仏大会幹事会
WCRP日本委員会出席
白川良純先生を囲む会出席

◆八月◆

二十九日 国際専門委員会
一日 税務小委員会
三日 文化専門委員会
五日 常務理事会
九日 法律相談室
十九日 全仏大会幹事会
二十五日 局内会議

幸福な死に方とは

中村元・武藤義一・雲井昭善・佐伯真光・中村尚志・花山勝友・山折哲雄

全日本仏教会／国際仏教交流センター編

現場の医師と第一線の仏教者との歯に衣を着せぬ大 ■定価980円

討論！ 原始仏教の死生観や『往生要集』にみる日本人の死生観を基調にして、いま大きな社会問題になっている安楽死、がん告知、脳死の是非、ホスピス運動など現実の諸問題にどう仏教者は取組むべきか、死者を弔うとともに病めるひとびとに励ましと慰めを与えるのが、仏教者の本務ではないか、等々——50年先をみざして仏教者に社会的行動を呼びかける。

四六判252ページ

平凡社

〒102 東京都千代田区三番町5
振替・東京8-29639

*本書は当会文化部でも取扱っております。是非文化部
あてお申込み下さい。(代金後払い、送料当方負担)

●現代の病める心に向うおいを与える希望のシリーズ

全4冊

①観音札讃
②浄土への憧れ 好評発売中

③経典の荘厳
④密教と聖なる山 8月刊行

●定価各1,800円

昭和五十八年九月一日発行
九月号 第二九一号

発行人 藤原知徳
編集人 川井匡俊

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都港区芝公園四十七-四
電話〇三(四三七)九一七五